

こんにちは  
**日本共産党**  
**大分市議団**  
 です

2011年7月5日

870-8504  
 大分市荷揚町2-31  
 市議会日本共産党控室  
 TEL 537-5695  
 FAX 537-5791  
 http://www.jcp-  
 oitasigidan.com  
 E-mail: occ-jcp  
 @oct-net.ne.jp

# 国保税は高い、介護保険は10年目 減免制度の充実、制度の改善も

## 高い国保税を下げ

「払いたくても払えない」「これ以上、何を削れというのか」など、高い国保税への声が、あちこちから寄せられています。

大分市では、「税率改定の際、税額の急な上昇をおさえるために、年間1億5千万円の繰り入れをおこなっている」といいますが、これでは不十分です。国庫負担の増額で、各保険者の財政基盤を充実させることが重要です。それまで、市独自の対策を強め、加入者の負担を軽減することが行政の仕事ではないでしょうか。

## 「資格証」の発行やめよ

「資格証明書」の発行につ

いて、大分市は「負担の公平性から困難」といいます。しかし「資格証」の発行が、受診の抑制、皆保険の崩壊につながりかねないことを直視すべきです。

## 介護保険10年

介護保険ができて10年、「保険料、利用料が高い」「なかなか施設に入れない」などの声が、あちこちから寄せられています。

保険料について、大分市は「低所得者に、すでに配慮している」と…。この保険料が払えない実態を、大分市は見るべきではないでしょうか。

保険料減免についても、預貯金150万円以上あればダメで、同意書をとるものの、厳しい調査に申請したくないという声も寄せられています。ひきつづき、制度改善に力を合わせましょう。

## 原発からのすみやかな撤退 自然エネルギーの本格的導入を

### 推進した人も：

原発の講演を聴く機会が、何度かありました。

6月19日、保険医協

会の公開講座に参加しました。武田邦彦・中部大学教授の『原発大崩壊！第2のフクシマは日本中にある』と題した講演。

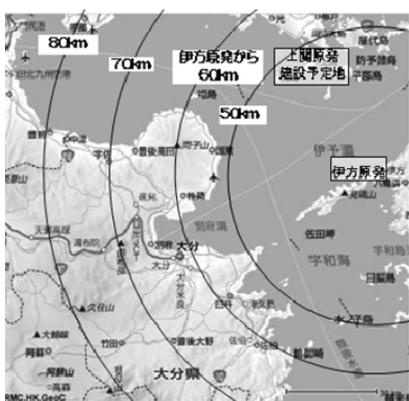
氏は、原発を推進されてきた方です。「技術者として、原発はすぐ止めるべき」と説きます。「原発を止めると、電力をどうする？ という意見があるが、子どもを放射能汚染させていいのかと問いた

い。電力問題と放射能汚染を同じレベルで議論するのはおかしい」という話には、同感です。

### 自然エネルギーは 原発の40倍

太陽光、風力、小水力

などの自然エネルギー・再生可能エネルギーの本格的な普及に全力をあげるときです。環境省の試算でも、実際に利用可能な自然エネルギーは、原発の総発電能力の40倍にもなります。この自然エネルギーを活用し、安全なエネルギーをつくらせましょう。



## ひろく 広次忠彦 通信 194

### 日本共産党と広次 ⑭

父から就職の話は「ある学校の仕事をしたいれば、来年は何とかしてやる、といっている。どうするか」と。「その人に一生頭のあがらない人生を送りたくはない」と断りました。まさかわが身に、「口利き」の話が…

さて、民商事務局に入って最初の仕事は『税金相談会』でした。極端に言えば、一人暮らしなら、所得が38万円超えたら税金が出る？生活費に税金がかけられている、それつて変：(続)